

米国における事業拠点最適化とラバーン工場閉鎖について

<参考資料>

この資料は、当社のグループ会社であるブリヂストン・アメリカスの発表文（2025年1月23日（米国中部標準時）米国テネシー州ナッシュビル）の内容を参考として日本語にて提供しているものです。情報の内容は、すべてオリジナル英文の意味するところが優先されます。あらかじめご了承ください。

株式会社ブリヂストンのグループ会社であるブリヂストン・アメリカス（以下、ブリヂストン）は、本日、米国テネシー州ラバーンにあるトラック・バス用ラジアルタイヤ工場を2025年7月31日をもって閉鎖することを発表しました。この決定は、当社の戦略的な事業再構築の一環であり、米国における事業拠点を最適化することで、競争力を強化し、ビジネスの質の向上を図るものです。ブリヂストンは、今後も米国の社会および経済に貢献し、人とモノの移動を支え続けてまいります。

ブリヂストンは、「最高の品質で社会に貢献」という使命のもと、1988年のファイアストーン社の買収以来、米国の社会および経済の発展に寄与してきました。この取り組みには、1990年代および2010年代に設立したテネシー州のウォーレン工場やサウスカロライナ州のエイケン工場などの新工場投資も含まれています。さらに、米州地域本社やその他の事業拠点、オハイオ州アクロンの技術センター、バンダグ社のリトレッド拠点、約2,200の直営小売店舗の販売サービスネットワークなど、米国における事業拠点を継続的に最適化し、地域社会への貢献も推進しています。

今後も、米国において、事業環境の変化に対応しながらコア事業であるプレミアムタイヤ事業を強化し、持続的に社会価値・顧客価値の創造を続けていくためには、さらなる事業拠点とコストの最適化が必要であると考え、今回のラバーン工場閉鎖を決定しました。同工場閉鎖により影響を受ける従業員は、約700名です。

さらに、ブリヂストンは、戦略的な事業再構築の一環として、米国における他の領域でも事業拠点およびコストの最適化を実施いたします。アイオワ州デモインの農機用タイヤ工場における生産能力削減および人員削減、ならびに米国のコーポレート機能および販売、オペレーション機能の人員削減が含まれます。今後、影響を受ける従業員に対しては、監督機関や労働組合を含め、適切に対応してまいります。

BRIDGESTONE WEST CEO 兼 Bridgestone Americas Group President

スコット・デイモンのコメント：

「このような判断は、従業員やその家族に大きな影響を与えるものであり、その重要性を含め、決定することは容易ではありません。しかし、同時に、将来を見据えた事業拠点の最適化も推進する必要があります。今回の決定により、より効率的なオペレーションを実現し、コア事業であるプレミアムタイヤ事業の強化につなげていきます。」

ブリヂストンは、将来にわたって米国の社会および経済に貢献し、人とモノの移動を支え続けるために、事業拠点とコストの最適化を継続的に推進することで、競争力を強化するとともに、「価値創造に、よりフォーカス」していきます。

加えて、ブリヂストンは南米地域においてもコスト最適化を図る事業再構築を進めており、アルゼンチンおよびブラジルにおいて、工場の生産能力削減や各事業拠点の人員削減を実施いたします。

これらの事業拠点およびコストの最適化に関する取り組みは、中期事業計画（2024-2026）における2024年から2025年にかけての「事業再編・再構築（第2ステージ）」の一環です。

<ラバーン工場 概要>

1. 所在地 : アメリカ合衆国 テネシー州
2. 生産品目 : トラック・バス用ラジアルタイヤ
3. 操業開始 : 1972年
4. 従業員数 : 約700名

以上

本件に関するお問い合わせ先
<報道関係> グローバル広報企画部 TEL：03-6836-3333
<お客様> お客様相談室 TEL：0120-39-2936